

京都府緊急雇用対策 NPO 提案型委託事業（平成21年9月～平成24年3月）
 「セーフティネットとしての『京都レッツラーン大学校』の構築事業」経過報告(2011/07/30)

1. 事業趣旨

未曾有の経済危機で失業者が急増している中、就職のためのセーフティネットの整備が遅れている。そこで原則無償で、かつ正規雇用に耐えられる高レベルの専門的職能を習得できる学び場「京都レッツラーン大学校」（仮称）を3ヵ年計画で構築する。

2. 事業理念 レッツラーン大学校の3つの絆

「学縁」…学びで結ばれる企業人、学生、失業者、生活保護世帯家族、専門家

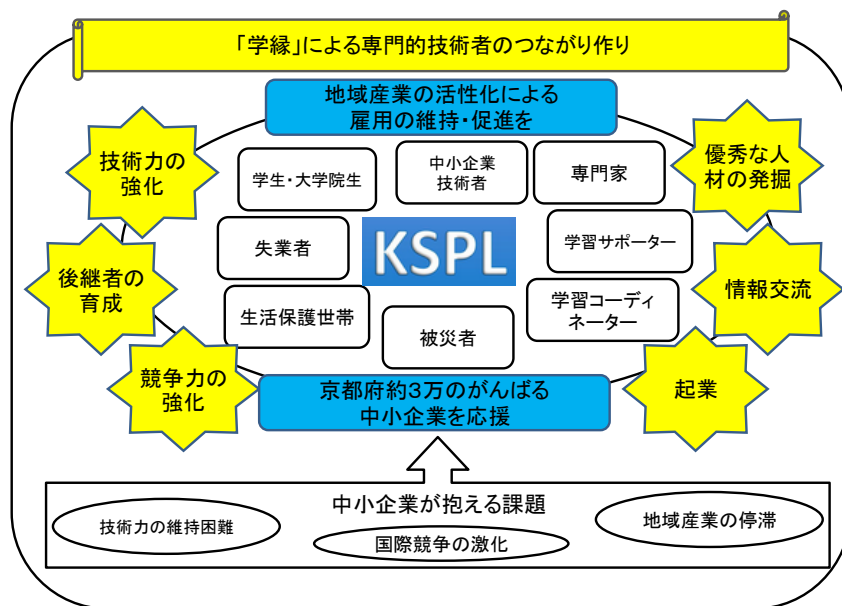
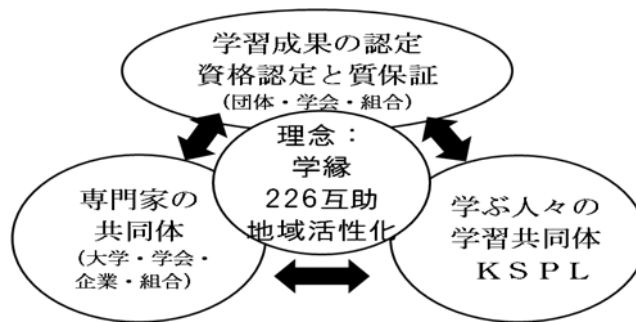
「226互助」…

定員2割の生活自立志望者（被災避難者、失業者、生活保護世帯、最低所得世帯など）は無償、当面は厚生労働省の求職者支援制度等を活用

定員2割の職能習得志望者（学生、低所得者など）は半額負担（現在、調整中）

定員6割の職能向上志望者は通常費用負担

「地域活性化」…京都北部、中部、南部の中小企業の技術者支援と育成による地域活性化



* KSPL : The Kyoto School of Professional Learning

3. 事業内容

- (1) 職能習得のための協調自律学習の環境および教材の提供・運用・構築
- (2) 遠隔地、職場分散、在宅における学習の環境および教材の提供・運用・構築
- (3) 学習成果の質保証のための資格認証に関わる事業
- (4) 学習サービスの国際規格の認証に関わる事業
- (5) 京都府下の地域活性化に資する学習に関わる事業
- (6) 学習および教材に関する研究開発・調査等の受託事業
- (7) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

現在、1コース4講座を開発・実施中。

エレクトロニクス技術者実力向上コース

試行講座「電気回路基礎」

試行講座「CMOS アナログ回路（1）」

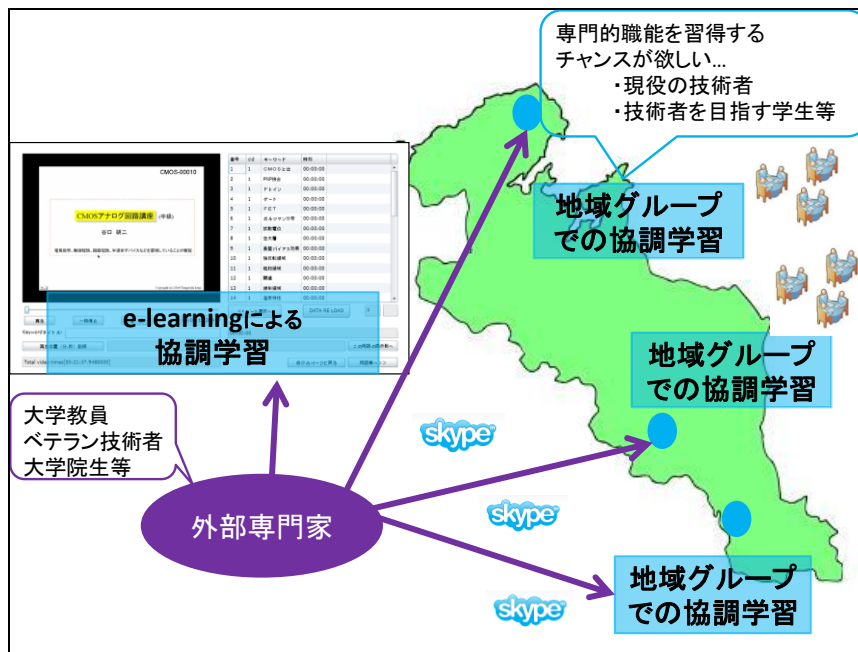
試行講座「CMOS アナログ回路（2）」

試行講座「最先端半導体デバイスとその応用」

4. KSPL の学習方法の特色

(1) 専門的職能の習得のための機会をもっと身近に

- ・ 選べる学習形態
 - 地域職場分散型 eラーニング+スクーリング（試行講座で実験中）
 - a. 職場・地域・大学、それぞれのコミュニティをベースにした学習
 - b. ICT を活用した学習支援
 - 各コミュニティと専門家のリアルタイムの質疑応答のためのテレビ会議システムを実験中（Skype・VQS collabo）
 - c. 各コミュニティに学習サポーターを派遣
 - d. コミュニティのニーズ・レベルに応じて学習プログラムの構成
- ・ これまであまりみられなかった専門的職能分野の e-ラーニングコンテンツ化
- ・ 協調自律学習に対応した eラーニングシステム C&AL on cloud
 - 自律学習を進めるため、単元別に講義映像、学習目標、確認テストを設定
 - 仲間、サポーター、専門家がつながる学友のページ
 - キーワード別掲示板によるコミュニティ全体で協調学習
- ・ 低コストで高品質の講座づくり
 - すでにある教材、ICT を活用しコストを抑える
 - 大学の町「京都」のマンパワーの活用し学習サポートを強化
 - 企画段階から参加者が携わりニーズに応じた講座づくり
 - 講座修了生による学習サポート体制の確立



地域職場分散学習のイメージ

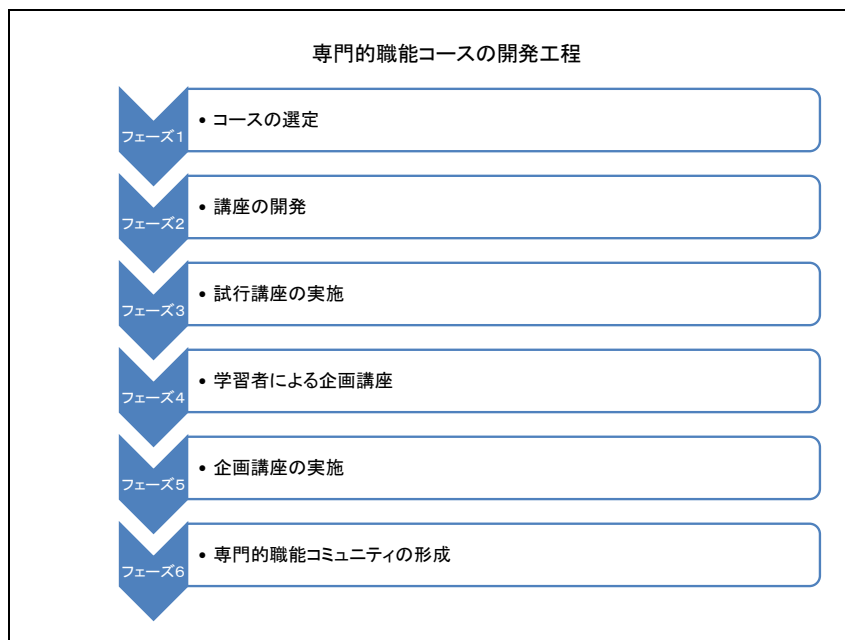
(2) 学習支援体制

- ・学習支援体制の構築（エレクトロニクス技術者実力向上コース）
 - 学習コーディネーター…教育方法学の観点から学習プログラムを構成
NPO 法人学習開発研究所 西之園 日高 堀出 望月
 - 学習サポーター…実施する講座内容を専門とする大学院生
学習プログラム、教材の作成
e-ラーニング上での学習者からの質問への返答
対面学習の時、各チームに助言
京都大学大学院情報学研究科小野寺研究室 宮脇成和
京都大学大学院工学研究科和田研究室 吉田敬祐
同志社大学大学院工学研究科渡辺研究室 中東佑太
同志社大学大学院工学研究科渡辺研究室 藤井亮
 - 専門家…学識経験者、現場経験者。学習者からのより専門的質問に返答
システム LSI 技術学院 河崎達夫 学院長

(3) 学縁による社会関係資本の形成

- ・同業種技術者のコミュニティ
 - 知識・技術の交流
 - 地域産業の活性化する意識の向上
 - 雇用のセイフティネットの維持
- ・大学の専門知の活かした地域産業の活性化
 - e-ラーニングコンテンツ 講義ビデオ
 - e-ラーニングと対面学習の時の学習サポート
- ・大学生・大学院生と中小企業のマッチング
 - (学生) ものづくり現場を知り刺激を受ける
 - (企業) 優秀な人材の採用

4. コース開発の工程



フェーズ1 コースの選定

- 京都府内の労働市場で需要が高い分野
京都労働局職業安定部「職業安定業務月報」など
- e-ラーニングのための映像コンテンツ化できる素材があること（講義映像、パワーポイントスライド、写真など）

エレクトロニクス技術者実力向上コースの場合

- 大手から中小企業まで京都府南部、東大阪は半導体関連のメーカーが多数
- システム LSI 技術学院 CD-ROM 教材のラインナップが充実
- 財団法人京都高度技術研究所実施「京都半導体塾」受講生（24名）を対象にアンケート調査を実施（2010年6月）
（問）システム LSI 技術学院 CD-ROM 教材のなかで学習したいタイトルは？
 - 1位 「最先端半導体デバイスとその応用」（講師：大阪大学 谷口研二）
 - 2位 「CMOS アナログ回路講座」（講師：大阪大学 谷口研二）
 - 3位 「半導体プロセス」（講師：奈良先端科学技術大学院大学 戸所義博）
- システム LSI 技術学院と NPO 法人学習開発研究所の共催コースとして「エレクトロニクス技術者実力向上コース」を企画（2010年6月～）。
教材の利用について大阪大学大学院工学研究科教授谷口研二先生（当時）の協力を得てアンケートで人気の高かった谷口先生の講座4タイトルの開発を進める
「電気回路基礎講座」（講座実施：2011年6月～8月）
「CMOS アナログ回路講座（1）」（講座実施：2010年11月～2月）
「CMOS アナログ回路講座（2）」（講座実施：2011年7月～8月）
「最先端半導体デバイスとその応用」（未定）
- e-ラーニングシステム開発は西之園晴夫研究代表の科学研究助成金の分担研究者として神戸大学松本哲助教に依頼。

フェーズ2 各講座の開発

- 学習サポーターの採用・育成
- 学習プログラムの作成
 - －学習目標
 - －学習方法
 - －教材

エレクトロニクス技術者実力向上コースの場合

- 実験講座「CMOS アナログ回路（1）」の参加者6名のなかから学習サポーターの候補者を育成（2010年6月～10月）。
同志社大学大学院工学研究科渡辺研究室 中東佑太
京都大学大学院情報学研究科小野寺研究室 宮脇成和
- 試行講座「CMOS アナログ回路（1）」の学習プログラムの作成
学習コーディネーターと学習サポーター2名が中心と作成（2010年6～10月）。
- 本格実施にむけて試行講座「CMOS アナログ回路（1）」の修正
担当：中東佑太（2011年3月～）
- 試行講座「CMOS アナログ回路（2）」の開発
担当：宮脇成和（2011年4～6月）
- 試行講座「電気回路基礎」の開発
京都大学大学院工学研究科久門准教授の協力を得て、学習サポーター候補者を育成。学習プログラムの作成（2011年3～5月）。
担当：京都大学工学研究科和田研究室 吉田敬祐
- 試行講座「最先端半導体デバイスとその応用」の開発
学習サポーター候補1名、途中辞退。新たな学習サポーターを探し中。

フェーズ3 試行講座の実施

- 本格実施に向けて改善点を得る
- 試行講座参加者の中から学習サポーターや講座運営の協力者を獲得する

エレクトロニクス技術者実力向上コースの場合

- 試行講座「CMOS アナログ回路（1）」の実施
同志社大学大学院工学研究科渡辺研究室6名（学部生3名・院生3名）を対象に実施（2010年11～2011年2月）。
講座の開発手順、学習サポートのあり方等のノウハウを得る貴重な経験となる。
参加者の中から学習サポーター候補を1名育成。
渡辺先生をはじめ参加者から好評を得ることができ、新たな参加者（7名）のもと試行講座「電気回路基礎」を実施中（2011年6月～）。
- 試行講座「電気回路基礎」の実施（2011年6月～9月）
大阪工業大学コミュニティ 27名（学部生・大学院生）
京都教育大学コミュニティ 4名（社会人・大学院生）
同志社大学コミュニティ 7名（学部生・大学院生）
- 試行講座「CMOS アナログ回路（2）」の実施（2011年7～8月）

京都教育大学コミュニティ 4名（社会人・大学院生）

フェーズ4 学習者による企画講座 <現段階>

- 中小企業の現場の需要が高い知識・技術を習得できる新しい講座を試行講座参加者、特に社会人技術者が中心になって企画する。

エレクトロニクス技術者実力向上コースの場合

- システムLSI技術学院CD-ROM教材から学習したい内容を試行講座参加者から調査。

フェーズ5 企画講座の実施

- 試行講座参加者が受講者をサポート。
- 技術者のつながりを広げていく。

エレクトロニクス技術者実力向上コースの場合

- 来春に実施できるように計画を進める。

フェーズ6 専門的職能コミュニティの形成

- 同じ分野の専門的職能をもつ技術者のネットワークを広げる
- 講座参加者が次の講座のサポートまたは新しい講座の企画に参加
- 若手技術者、後継者を育成のための学習成果の認証団体の立ち上げ

エレクトロニクス技術者実力向上コースの場合

- モデルとして「けいはんな」地区コミュニティづくりを進める
- 京都府北中南丹後地域のコミュニティづくりの土台を作る
講座の回を重ねるごとにコミュニティ人口を増やす

5. 課題

- 参加協力者の獲得
企業の管理職よりも現場の技術者へのアプローチの強化
試行講座に参加している社会人技術者は「けいはんな」メーリングリストから申込み
ホームページやソーシャルメディアでのCMを増やす
- 府の委託事業終了後の自律的経営
－講座参加費、会員費の試算
－高等教育機関にむけ学習パッケージの作成
- 公共事業との協働
中小企業支援事業の一貫として人材育成事業の受注ための方向性
－資格認証ついて一般社団法人地域公共人材開発機構との連携強化
－基金訓練制度等の委託を視野にいたしたISO29990の認証を受ける
－一般社団法人、公益社団法人格取得を目指す